

新宿公民館便り

～つどい まなび つなぐ～

9月になってやや動いた前線が、日本の上空に長く停滞していた熱い空気を揺さぶってくれたようだ。ちょっとずつではあるが、猛暑の勢いは弱くなった。「暑さ寒さも彼岸まで」の言い伝えは、多少、面目を保てたか。秋の虫たちの大合唱が待ち遠しい。そして今年は、秋の心地よさを長い期間楽しみたいものだ。

9月の夏休み ～ナガサキ紀行～

少し遅い夏休みをいただいて、長崎に帰省しました。目的はいつも決まって、母との面会、高校時代の仲間との再会、長崎市内をさぐること(方言で、ふらふらと歩いて見て回ること)です。9月とはいえ、さすがに今年の長崎市もとても暑い3日間でした。

第6号でお知らせした、山王神社の被爆クスノキを訪ねま



した。山王神社に上がる階段の先に片足鳥居が残っています。被爆によって崩れた鳥居の片足は、そのすぐそばに保管してありました。その先を進むと本殿につながる参道あり、被爆クスノキが左右に聳え立っていました。被爆した時の写真も掲示されていました。修復の際には、幹にはガラスや石の破片がめりこんでいたそうです。被爆直後、焼け野原にポツンと焼け残っていた幹は、今では幹回り7m、高さ17mにもなり、ひっそりとした境内を覆っていました。隣の幼稚園からはこどもたちの元気な声が響いていました。地元の人からすると、普通に街中にある風景なのです。クスノキから15分ほど歩くと浦上天主堂。さらに10分ほど下ると平和公園です。毎年、8月9日には平和祈念式典がこの公園で行われるの



令和7年度 第8号
令和7年9月22日(月)
発行 千葉市新宿公民館
住所 中央区新宿2-16-14
電話 043-243-4343

【長崎原爆落下中心地碑】

で、シンボリックな銅像を目にしたことがあるのではないのでしょうか。近くを流れる下の川には、被爆直後に水を求めた多くの死体があったそうです。

平和公園で懐かしい「チリンチリンアイス」売りを見つけました。何十年ぶりでしょうか、一ついただきました。シャーベット状のアイスをバラの花のように器用に飾りつけてくれます。売り子のおばちゃんとの会話を楽しむこともできました。

長崎市内は路面電車が張り巡らされていて、観光地はおおよそこれに乗って巡ることができます。昔、中国から伝わった黄檗宗のお寺、崇福寺近くにも電停があります。朱色の山門が特徴的で、中国とかかわってきた歴史を感じられます。

長崎は坂の町です。平地には、商店や大きなショッピングモール、ビルや路面電車が走る中心街があり、多くの市民は坂の途中に家を構えています。長崎駅前の正面にも、山頂にめがけて家々が立ち並ぶ風景が広がっています。我が家も同様。中心街からバスで20分ほど緩やかに上り、バス停からさらに150m



ほどの急な坂道を歩かなければなりません。40年以上もこの坂道に来る日も来る日も上り下りしていた母は、今は膝を悪くしてしまいました。木の上から子の帰りをを見つけ、木の上から帰りを見送る…。「親」という字の成り立ちを思わずにはられません。



帰省するたびに、チャンポンを無性に食べたくなります。店ごとに微妙に味が違うので、3日間毎日、どこかの店で食べました。ビールのお供に。食べることに夢中で、写真を撮り忘れました…。

高校時代のクラブの仲間との一杯は格別です。私が長崎に帰るとなるといつも集まってくれます。思案橋の近くの居酒屋で、長崎弁で語り合いました。それぞれ第2第3の人生を過ごしているようでした。お互い時間ができるようになって、10年前とは話題も変わってきたことを感じました。

養護老人ホームに母を訪ねる朝は、何か元気が出ます。今でもマスクをして手指消毒して検温を通過しての入館です。先に待っていた母は、小さく手を振り迎えてくれました。決められた短い時間、言いたいことを一つ一つ選びながら話しかけてきます。「雨のつようになったよ。濡れんごとせんばよ。」「〇〇さん(私の妻)にありがとうでゆうとつて…。」いつもと変わらない心配性の母に、「大丈夫よ」「わかつとるよ」「よかよかア、心配せんで…。」と応えるだけです。あっという間に20分が過ぎてしまって、写真を撮ることを忘れていました。帰り道、長崎は真っ直ぐな雨でした。

秋の七草

春の七草は口ずさみやすいですね。「セリ ナズナ ゴギョウ…」。「草」として茹でておかゆに入れて食べたりもします。一方、秋の七草は「花」が並び、覚えにくくはないですか？ 山上憶良が詠んだといわれる秋の花々。どんな花なのか調べてみてください。

はぎ おぼろ くずばな なでしこ
「萩の花 尾花(ススキ) 葛花 撫子の花
おみなえし ふじばかま あさがお
女郎花 藤袴 朝顔(キキョウ)の花

「秋の七草」の覚え方は
「お好きな服は
(オスキナフクハ)」です。



【正面玄関のキキョウ】

第19回文化祭に向けて

11月1日(土)2日(日)は新宿公民館文化祭です。稽古・練習や制作など、着々と準備が進められていると存じます。どうぞ無理なくできる範囲で取り組まれてください。10月31日(金)の前日準備の日と文化祭当日に平常の活動が入っている団体さんにはご迷惑をおかけします。

先日、実行委員会が行われ、当番に当たった団体の役割分担が決められました。定期団体全体で開催される催しですので、互いに助け合いながら、補完しながら進めていってほしいと思います。初めて取り組まれている方も多くいらっしゃると思いますが、詳細まで徹底できていないこともあるかもしれませんが、そこは何卒ご理解いただいて、スムーズな運営にご協力をお願いします。そしてなによりも、皆さんが楽しんでいただけたらと思います。限られた施設での開催ですので、何かと不都合な部分はお容赦ください。私も、ビデオカメラを回しながら、2日間、楽しみたいと思います。

今一度、持ち物の確認を

最近(でもないのですが)、各部屋に残されていた忘れ物が多くなっています。傘については、もう一年中置かれたままです。水筒、帽子、時計、ネックレス、靴、扇子、杖…。各サークルで用意した掲示物。これから冬になると手袋とか？…。忘れたことをすぐに思い出して取りに来ていただいて“救助”されたものも多くあります。その方が大事にしていたものかも、などとも思いつつ、なんとなく残してあります。どうか活動終了後には、皆さんで今一度部屋を見渡していただき、忘れ物の撲滅にご協力ください。

サテライト配信、どうですか？

10月29日(水)13:30、【クマと私たちの距離】という題で、公民館講習室でサテライト配信されます。今年は北日本でのクマによる被害を毎週のように聞くようになりました。千葉県にはクマは生息していないといわれますが、故郷がそちらの方にはご心配でしょうし、旅行を考える時、ふと考えてしまうのではないのでしょうか。自然環境の変化や私たちの生活の仕方など考える機会にもなるかと思えます。チラシを受付に用意してありますので手にとってご覧ください。

面会の母 ^{たお} 嬬やかに 夏の雨

(新宿公民館 館長 迎 浩二)